

事業実施主体一覧表

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
1	自然環境を守る取組	四万十市	日本防災植物協会	防災植物を切り口に高知の豊かな自然や生物多様性への関心を高めることを目的に、「防災植物×カクテル」「防災植物×写真」「防災植物×こども」の計3回のミニ教室を開催した。さらに、防災植物をテーマにした紙芝居「どくだみ親分の反乱」を制作し、屋内外や参加人数を問わず楽しみながら学べる教材として活用できるようにした。これらの取組により、自然に関心の少ない層や子どもたちにも自然の魅力を伝える機会を広げた。	471,473	426,000	一般事業
2	自然環境を守る取組	須崎市	高知に自然史博物館をつくる会	高知県に自然史博物館を設立する意義を県民に伝えるため、巡回パネル展を県内8会場で開催し、自然史資料や博物館の役割について紹介した。あわせてオーテピアでシンポジウムを開催し(参集者66名)、県内外の専門家と県民が参加して自然史資料の保存や活用の重要性について講演と意見交換を行い、自然史博物館設立の意義を広く共有した。	503,351	500,000	一般事業
3	自然環境を守る取組	須崎市	NPO 法人 四国自然史科学研究センター	高知県内に散在する生物標本を保全するため、廃校校舎を活用した一時保管場所の整備に向けた準備を行った。標本保管環境を整えるため、温湿度上昇の抑制や紫外線低減に必要な資材を購入し、収納や整理のための保管環境の整備を進めた。施設の雨漏りの影響で標本搬入は延期となったが、将来的な標本受入れに向けた基盤整備を進めた。	61,106	61,000	一般事業

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
4	自然環境を守る取組	三原村	三原村星草の会	耕作放棄地となった水田に生育する絶滅危惧植物の生育環境を保全するため、期間中に延べ63人が参加し10回の管理作業を行った。草刈りや野焼き、立木伐採などの管理を進めるとともに、水路修復にも取り組んだ。また、地元小学校5年生との観察会を開催し、地権者の話を聞きながら里山環境や地域の伝統的な農法について学ぶ機会を設けた。	459,822	459,000	一般事業
5	自然環境を守る取組	四万十町	遠山を守る会	遠山自然公園で水生昆虫や希少植物を安全に観察できる環境を整えるため、池にかかる栈橋の改修工事を実施した。工事は重機を使用せず、生態系への影響を抑える方法を採用して整備した。整備後は生き物調査や観察会で栈橋を活用し、水生昆虫の採集や観察が安全に行えるようになった。さらに地元小学校の児童を対象とした環境学習を実施し、希少植物や水生昆虫の観察を通して遠山自然公園の生物多様性への理解を深める機会を提供した。	562,669	500,000	一般事業
6	自然環境を守る取組	土佐清水市	(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会	土佐清水市に生育する希少植物マルバテイショウソウの保全を目的に、生育地のモニタリングや市民向けの勉強会・観察会(2回)を実施した。専門家の協力のもと生育状況や周辺環境を確認し、虫害や食害など保全上の課題を把握した。また、市広報やチラシを通じて参加者を募集し、市民が希少植物の価値や地域の自然環境について理解を深める機会を設けることで、保全活動への関心を高めた。	46,382	46,000	一般事業

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
7	自然環境を守る取組	須崎市	ジンド池生物研究所	須崎市安和地区にあるジンド池周辺の里山環境の魅力を広く伝え、生物調査活動への参加者を増やすことを目的に観察イベントや広報活動を行った。夜間の昆虫観察を行うライトトラップイベントを開催し、参加者 31 名が普段見ることの少ない夜の生き物を観察する機会を提供した。また、活動紹介パンフレットの作成やホームページ更新を行い、活動の周知とメンバー募集を進めた。	500,114	500,000	一般事業
8	自然環境を守る取組	黒潮町	NPO 法人 NPO 砂浜美術館	生物の骨格標本を通して生き物や標本の魅力と意義を広く伝えることを目的に、全国の博物館関係者や研究者、標本作製者などが集まる交流・展示イベントを開催した。北海道から九州までの 33 団体約 140 名が参加し、陸と海の多様な生物の標本展示や講演、情報交換を行った。来場者は 2 日間で約 800 名にのぼり、標本を通して自然や生物の多様性への理解を深める機会となるとともに、出展者同士の技術交流や情報共有の場ともなった。	993,762	500,000	一般事業

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
9	自然環境を守る取組	高知市	鏡川水生生物研究会	高知市を流れる鏡川流域の生物多様性調査と普及啓発を目的に本事業を実施した。調査は河口域からトリム堰周辺の感潮域を対象に月1回程度実施し、魚類25種・甲殻類13種・貝類8種を確認した。そのうち高知県指定絶滅危惧種は魚類6種・甲殻類4種にのぼり、県指定希少野生動植物種のイドミミズハゼも複数観察され、鏡川の高い生物多様性が改めて証明された。普及活動としては、高知みらい科学館などと連携し、企画・共催・参加を含むイベントに計6回関わることで、生物多様性の重要性を幅広く発信した。「ふるさとのいのちをつなぐ生物多様性こうちプラン大賞」では大賞を受賞し、高知市の広報紙にも3回にわたり活動が紹介されるなど、鏡川の豊かな自然を多くの人々に広く伝えることができた。	161,623	161,000	ステップアップ事業
10	地球温暖化への対策	南国市	南国市立長岡小学校 6年生	地球温暖化対策のため、二酸化炭素排出量の削減につながる生活行動を考える学習として、地産地消や食品ロス削減をテーマとした環境学習を行った。地域で環境保全型農業に取り組む生産者をゲストティーチャーとして招き、木質ペレットを利用した暖房や家畜ふんの堆肥化、天敵農法による農薬削減など、気候変動の影響を小さくする農業の取組について学んだ。児童はその学びをもとに、地元食材を活用した「地産地消朝ごはんレシピ集」(400部)を作成し、環境保全型農業の意義や温暖化防止への取組を地域に発信した。	100,000	100,000	ステップアップ事業 (ジュニア枠)

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
11	地球温暖化への対策	香美市	香美市こどもエコクラブ	資源循環や地球温暖化防止への理解を深めることを目的に、リサイクルやごみ分別に関する学習と地域への啓発活動を行った。エフピコ福山リサイクル工場の見学では、食品トレーのリサイクル率が約20%である現状を知り、リサイクルは家庭での分別から始まることを学んだ。その学びをもとに、「よってたかって香美市でエコ!」や「こうち環境博2025」での啓発活動のほか、地元スーパーマーケットでの「正しいトレー分別」の呼びかけ、お店を巡るエコスタンプラリー、地域でのごみ拾いなどを実施し、楽しみながら資源循環の大切さを伝える活動を展開した。	165,747	100,000	ステップアップ事業 (ジュニア枠)
12	自然環境を守る取組	高知市	高知市立旭小学校	学校前を流れる本宮川に生息するホタルや水生生物について学ぶ環境学習を行い、児童の地域環境への関心と保全意識を高める取組を行った。専門家を招いた生き物調査ではカワニナやモクズガニ、絶滅危惧種ドンコなど多様な生物を確認し、本宮川の生態系について理解を深めることができた。調査結果をもとに生き物マップを作成し、「第42回わたしの自然観察路コンクール」に応募し、団体の部で優秀賞を受賞した。また、地域団体と一緒に「冬のブルーサンタごみ拾い」にも参加した。学習成果をまとめ、リーフレットを作成し、地域へ発信した(900部)。	98,795	98,000	ステップアップ事業 (ジュニア枠)
合計					4,124,844 円	3,451,000 円	—